

# 政治資金の闇を暴き日本の政治を創り直す

日時：2024年5月12日（日）10時～11時15分 主催：市民オンブズ尼崎

会場：尼崎市立小田南生涯学習プラダ

上 脇 博 之（かみわき・ひろし）

（神戸学院大学法学部教授・憲法学、「政治資金オンブズマン」代表）

## 1. スクープ報道と政治資金規正法違反

### (1) 政治資金規正法の政治資金パーティーに関する定め

#### 政治資金規正法第1条

この法律は、議会制民主政治の下における政党その他の政治団体の機能の重要性及び公職の候補者の責務の重要性にかんがみ、政治団体及び公職の候補者により行われる政治活動が国民の不断の監視と批判の下に行われるようにするため、政治団体の届出、政治団体に係る政治資金の収支の公開並びに政治団体及び公職の候補者に係る政治資金の授受の規正その他の措置を講ずることにより、政治活動の公明と公正を確保し、もって民主政治の健全な発達に寄与することを目的とする。

#### 事業収入の明細記載義務（政治資金規正法第12条第1項第1号）

機関紙誌の発行その他の事業(政治資金パーティーを含む)収入明細	「特定パーティー」(1000万円以上)収入明細
その事業の種類及び当該種類ごとの金額	パーティーごとに、その名称、開催年月日、開催場所及び対価に係る収入の金額並びに対価の支払をした者の数
「一の政治資金パーティー」の対価に係る収入について、「同一の者からの政治資金パーティーの対価の支払で、その金額の合計額が20万円を超えるもの」(対価の支払をした者の氏名、住所及び職業並びに当該対価の支払に係る収入の金額及び年月日)	
政治資金パーティー開催に要した経費の支出額と5万円以上の支出の明細	

### (2) スクープ報道と私の刑事告発

#### (1) 20万円超収入明細不記載（過少記載を含む）事件とその刑事告発

##### 自民党の5派閥とその政治団体名

派閥名	細田・安倍派	二階派	竹下・茂木派	麻生派	岸田派
政治団体名	清和政策研究会	志帥会	平成研究会	志公会	宏池政策研究会

#### 政治資金パーティー20万円超収入明細不記載（過少記載を含む）イメージ

派閥の政治団体の政治資金収支報告書における政治資金パーティー20万円超収入明細の記載	派閥の政治団体主催の政治資金パーティー20万円超支出を明記した政治団体の政治資金収支報告書
●○▼◇政治連盟からの収入30万円 (過少記載)	●○▼◇政治連盟が50万円支出
(不記載)	▲◇□●政治連盟が100万円支出

- ・「パー券収入脱法的隠蔽 2500万円分不記載」(2022年11月6日号)・・・政治資金収支報告書のインターネット公表は直近3年(2018年～2020年)分・・・刑事告発可能
- ・「自民“脱法”パー券積みもりに積もって4000万円」(2023年11月5日号)・・・22年11月末以降21年分、昨23年11月下旬には22年分の不記載も発見・・・刑事告発可能

**(II) 裏金事件とその刑事告発**

- ・2023年12月から裏金事件へ(同月1日付朝日新聞報道以降)

「安倍派、裏金1億円超か パー券不記載、立件視野 ノルマ超分、議員に還流 東京地検特捜部」朝日新聞 2023年12月1日 5時00分

「安倍派の議員側も裏金化 パー券のノルマ超え分、派閥に納めない手法」朝日新聞 2023年12月2日 5時00分

「自民・二階派でもプール金 不記載は5年間で2億円規模か」毎日新聞

「安倍派の裏金、5億円か 所属議員の大半に還流 派閥側の立件不可避」朝日新聞 2023年12月12日 4時00分

「岸田派、不記載は3年で2千万円超か 販売議員不明のパー券収入除外」朝日新聞 2023年12月14日 4時00分

「大野泰正参院議員=岐阜選挙区、当選2回=が5千万円超、池田佳隆衆院議員=比例東海、当選4回=と谷川弥一衆院議員=長崎3区、当選7回=が各4千万円超を受け取ったとみられる。」(「安倍派3人に5千万円超～4千万円超 最大規模の裏金か パー券収入」朝日新聞 2023年12月10日 4時00分)

- ・しかし、裏金事件告発は政治資金収支報告書訂正後

政治団体	池田黎明会	平成研究会	宏池政策研究会	志帥会	清和政策研究会
訂正日	23年12月8日	24年1月17日	24年1月18日	24年1月18日	24年1月31日

◆以上の訂正により政治資金パーティー総収入の過少記載(裏金づくり)が具体的に判明

**2020年**

政治団体	当初の収入額	訂正後の収入額	差額	キックバック	裏金プール
清和政策研究会	1億0262万円	2億6383万円	1億6121万円	1億5877万円	319万円
志帥会	2億2767万円	3億2047万円	9280万円	2424万円	1億4118万円
平成研究会	1億8146万円				
志公会	2億1706万円				
宏池政策研究会	1億5533万円	1億6429万円	896万円		2501万円

※宏池政策研究会は2019年までに1605万円の裏金プールあり

**2021年**

政治団体	当初の収入額	訂正後の収入額	差額	キックバック	裏金プール
清和政策研究会	1億0002万円	2億7187万円	1億7185万円	1億6095万円	1409万円
志帥会	2億7803万円	2億9773万円	1970万円	3045万円	1億3244万円
平成研究会	1億9269万円	1億9271万円	2万円		2万円
志公会	2億1938万円				
宏池政策研究会	1億4967万円				2501万円

### 2022年

政治団体	当初の収入額	訂正後の収入額	差額	キックバック	裏金プール
清和政策研究会	9480万円	1億9762万円	1億0282万円	1億1770万円	839万円
志帥会	1億8845万円	2億1209万円	2364万円	964万円	1億4837万円
平成研究会	1億8142万円	1億8420万円	278万円		280万円
志公会	2億3511万円				
宏池政策研究会	1億8329万円				2501万円

## 2. 自民党主要派閥政治資金パーティー事件の内実

### (1) 3種類の政治資金規正法違反事件

#### ① 5派閥の20万円超政治資金パーティー収入明細収支報告書不記載・虚偽記入事件（2018年～2022年）

#### 告発日(告発状の日付)・・・告発補充書は除く

政治団体名	2018年～20年分	～20年分追加	2021年分	21年150万円超	22年150万円超	18年～22年追加
清和政策研究会	22年11月9日 22年11月16日	—	—	23年10月13日		23年12月8日
志帥会	23年1月1日	23年10月12日	23年10月15日	23年10月13日	23年11月29日	23年12月18日 24年1月21日
平成研究会	22年11月24日	—	23年10月14日			23年12月29日
志公会	23年1月6日	23年10月12日	—		23年11月29日	23年12月25日
宏池政策研究会	23年1月9日	—	—			24年1月1日

政治団体名	18年～20年	～20年追加	2021年	21年150万円超	22年150万円超	18年～22年追加	総計
清和政策研究会	1946万円	—	—	6万円		1338万円	3290万円
志帥会	468万円	80万円	206万円	220万円	194万円	408万円	1576万円
平成研究会	526万円	—	94万円			218万円	838万円
志公会	340万円	70万円	—		180万円	318万円	918万円
宏池政策研究会	212万円	—	—			90万円	302万円
合計	3492万円	150万円	300万円	226万円	374万円	2372万円	6924万円

②4派閥政治資金パーティー総売上額・繰越額収支報告書過少記載事件(基金プール事件)

政治団体	年	パーティー収入過少記載額	不記載の繰越(基金プール)額	告発状発送日
平成研究会	2021年	2万0000円	2万0000円	2024年1月28日
	2022年	278万0000円	280万0000円	
宏池政策研究会	19年まで	1605万0000円	1605万0000円	2024年1月28日
	2020年	896万0000円	2501万0000円	
	2021年		2501万0000円	
	2022年		2501万0000円	
志帥会	2020年	9280万0000円	1億4118万2445円	2024年1月21日
	2021年	1970万2417円	1億3244万4862円	
	2022年	2363万8692円	1億4837万3554円	
清和政策研究会	2020年	1億6121万0000円	319万0212円	今後告発する予定
	2021年	1億7185万0000円	1409万0212円	
	2022年	1億0282万0000円	839万0212円	

③2派閥の政治資金パーティー販売ノルマ超過分キックバック等授受各不記載事件

政治団体	年	不記載のキックバック・中抜き	告発日
清和政策研究会	19年まで	1618万円	2024年1月9日
	2020年	1378万円	
	2021年	1330万円	
	2022年	500万円	
志帥会	2020年	2424万円	2024年1月21日
	2021年	3045万円	
	2022年	964万円	
清和政策研究会	2020年	1億5877万円	順次告発予定(一部告発済・後掲)
	2021年	1億6095万円	
	2022年	1億0770万円	

(2) 自民党のアンケートとその結果・・・過去5年分(2018年～2022年分)

「自民党、85人不記載・総額5.8億円 調査結果を公表」日本経済新聞 2024年2月13日 16:00  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA133TCOT10C24A2000000/> : 次頁に一覧表示

「政治資金規正法違反の罪で立件された池田佳隆衆院議員や大野泰正参院議員、谷川弥一前衆院議員は含んでいない。」

自民党のアンケートで不記載があったと回答した議員ら

○は安倍派、□は二階派  
\*自民党の発表を基に総額順で作成

氏名	派閥	合計 (万円)	不記載額					氏名	派閥	合計 (万円)	不記載額				
			2022年	21年	20年	19年	18年				2022年	21年	20年	19年	18年
二階 俊博	□	3526	528	622	618	956	802	亀岡 健民	○	348	52	200	40	18	38
三ツ林裕巳	○	2954	150	642	1016	784	362	上野 通子	○	318	80	8	100	12	118
萩生田光一	○	2728	582	888	482	338	438	上杉謙太郎	○	309	240	0	46	0	23
山谷えり子	○	2403	510	568	441	400	484	佐藤 啓	○	306	214	2	22	32	36
堀井 学	○	2196	0	650	436	628	482	森 雅子	○	282	130	0	38	114	0
橋本 聖子	○	2057	0	0	289	1566	202	鈴木 英敬	○	280	280	0	0	0	0
武田 良木	□	1926	78	706	388	260	494	江島 潔	○	280	140	62	38	28	12
中根 一幸	○	1860	0	48	386	588	838	赤池 誠章	○	268	28	32	38	160	10
平沢 勝栄	□	1817	0	792	288	265	472	吉川 有美	○	240	74	0	166	0	0
築 和生	○	1746	60	421	443	484	338	木村 次郎	○	236	62	0	82	14	78
林 幹雄	□	1608	180	486	846	48	48	堀谷 立	○	234	120	0	76	14	24
杉田 水脈	○	1564	554	0	318	352	340	青山 周平	○	230	10	26	36	118	40
世耕 弘成	○	1542	0	476	360	604	102	今村 洋史	○	220	220	0	0	0	0
宮本 周司	○	1482	200	402	372	292	216	太田 房江	○	214	0	0	16	158	40
宗清 慶一	○	1408	210	316	328	210	344	松川 るい	○	204	88	48	58	10	0
菅家 一郎	○	1289	0	574	104	318	293	稲田 朋美	○	196	100	96	0	0	0
小田原 潔	○	1240	352	134	358	302	94	谷川 とむ	○	188	0	68	66	34	20
衛藤征士郎	○	1070	0	620	350	100	0	佐々木 紀	○	184	0	58	108	4	14
松野 博一	○	1051	0	550	315	74	112	井上 義行	○	178	0	100	70	0	8
高木 毅	○	1019	110	335	420	88	66	井原 巧	○	168	168	0	0	0	0
大塚 拓	○	994	264	264	346	120	0	宮内 秀樹	□	161	98	21	26	16	0
和田 義明	○	990	226	300	184	138	142	宮沢 博行	○	132	32	42	58	0	0
中山 泰秀	○	908	162	204	230	154	158	北村 経夫	○	118	60	0	38	12	8
柴山 昌彦	○	896	80	130	346	256	84	長峯 誠	○	116	28	10	40	32	6
堀井 康	○	876	152	198	116	308	102	野上浩太郎	○	100	0	4	92	4	0
関 芳弘	○	836	82	322	120	212	100	西村 康稔	○	100	0	38	32	18	12
丸川 珠代	○	822	217	195	100	304	6	福田 達夫	○	98	18	16	60	2	2
羽生田 俊	○	818	296	248	90	126	58	越智 隆雄	○	84	10	0	8	28	38
岡田 直樹	○	774	80	228	288	94	84	衛藤 康一	□	80	80	0	0	0	0
吉野 正芳	○	660	110	94	210	118	128	山田 美樹	○	76	0	10	24	18	24
加田 裕之	○	648	234	210	204	0	0	小森 卓郎	○	70	70	0	0	0	0
尾身 朝子	○	623	96	165	106	256	0	田畑 裕明	○	68	0	26	18	0	24
末松 慎介	○	584	410	132	40	0	2	鈴木 淳司	○	60	0	22	30	8	0
細田 健一	○	564	0	134	340	90	0	山本 順三	○	58	0	2	34	0	22
山田 宏	○	560	20	162	100	182	96	酒井 康行	○	58	0	2	2	54	0
西村 明宏	○	554	106	146	302	0	0	加納陽之助	○	40	40	0	0	0	0
高橋 修一	○	544	140	148	196	0	60	石田 昌宏	○	26	26	0	0	0	0
下村 博文	○	476	128	188	124	36	0	高橋はるみ	○	22	0	0	22	0	0
根本 幸典	○	420	36	166	194	24	0	藤原 崇	○	14	10	0	0	4	0
西田 眞司	○	411	40	68	126	142	35	宮下 一郎	○	12	0	12	0	0	0
石井 正弘	○	378	72	42	84	132	48	加藤 竜祥	○	10	10	0	0	0	0
義家 弘介	○	369	179	98	86	4	2	山崎 正昭	○	4	0	0	4	0	0
若林 健太	○	368	34	72	78	80	104								

・キックバック・中抜き等の寄附金を受領した議員の選挙区支部又は資金管理団体の政治資金収支報告書の訂正は直近3年分だけ(派閥の政治団体の政治資金収支報告書の訂正も同じ)・・・政治資金収支報告書の要旨(県公報)を訂正している議員の政治団体も一部あり。

(3) 東京地検特捜部の処分

① 2024年1月19日処分（裏金プール事件・キックバック授受各不記載事件）

処分	被疑者
在宅起訴	「清和政策研究会」代表者兼会計責任者、「志帥会」代表者兼会計責任者、 <b>大野泰正</b> <b>参議院議員</b> 、同議員秘書
略式起訴	「宏池政策研究会」代表者兼会計責任者、谷川彌一衆議院議員、同議員秘書、二階俊 博衆議院議員秘書
不起訴	5派閥の政治団体の政治資金パーティー20万円超収入明細不記載の被告発人全員 (2024年1月21日告発分を除く)

② 2024年1月26日処分（キックバック授受各不記載事件）

処分	被告発人
在宅起訴	<b>池田佳隆衆議院議員</b> 、同議員政策秘書
不起訴	森喜朗、塩谷立・会長代行、下村博文・会長代行、高木毅・事務総長、西村康稔・前 事務総長、世耕弘成・参議院幹事長、松野博一・官房長官（当時）

3. 上記事件から明らかになった重要な事実

(1) 「政治資金パーティー」では裏金がつくりやすい！

- ・政治資金収支報告制度のある政治団体のパーティー券購入は根気よく探せば確認できる。
- ・しかし政治資金収支報告制度のない会社・労働組合・任意団体のパーティー券購入は確認できず。
- ・となると、政治資金パーティー収入の透明度を高めても会社などの収支報告制度はないので裏金づくりは防止できない。

◆収益率が高い理由・・・パーティー券を大量購入し不参加・・・事実上の寄付

2022年の各派閥の政治資金パーティー収益率

政治団体	パーティー収入額	参加権者	パーティー経費支出	収益	収益率
清和政策研究会	1億9762・0万円	9881人	約2591・9万円	1億7170・1万円	86・9%
志帥会	2億1209・0万円	1万6045人	約1573・9万円	1億9635・1万円	92・6%
平成研究会	1億8420・0万円	9210人	約1981・9万円	1億6438・1万円	89・2%
志公会	2億3331・2万円	1万1666人	約2042・6万円	2億1288・6万円	91・2%
宏池政策研究会	1億8329・0万円	9165人	約1689・3万円	1億6639・7万円	90・8%

(2) 企業献金の有無と献金額の真実も確認できない！

- ・企業献金を受けた政党・政治資金団体（国民政治協会）の政治資金収支報告書の記載だけでは企業献金の有無とその献金額は真実かどうか確認できない。となると、裏金がつくり易い。

(3) 政治資金パーティーではない収益率の高い事業でも同じ

- ・オンライン事業は「催物」ではないので「政治資金パーティー」ではないから、20万円超の会費収入の収支報告書明細記載義務なし！

資金管理団体「教人会」(代表・武見敬三) 2021年オンライン勉強会・セミナー

事業の種類	収入金額	経費支出	収益	収益率
教人会勉強会	1603万2000円	202万8723円	1400万3277円	87・3%
教人会勉強会	1213万0000円	213万4254円	999万5746円	82・4%
教人会勉強会	1162万0000円	170万6984円	991万3016円	85・3%
武見セミナー	1760万5000円	188万0225円	1572万4775円	89・3%

資金管理団体「教人会」(代表・武見敬三) 2022年オンライン勉強会・セミナー

事業の種類	収入金額	経費支出	収益	収益率
教人会勉強会	1309万0000円	198万6499円	1110万3501円	84・8%
教人会勉強会	1352万0000円	195万9274円	1156万0726円	85・5%
教人会勉強会	1269万0000円	187万4202円	1081万5798円	85・2%
武見セミナー	1885万0000円	207万6115円	1677万3885円	89・0%

4. 他にもある裏金(法律の不備による裏金)

(1) 政党(本部、支部)の行う「公職の候補者への寄付」

- ・政治資金規正法は「公職の候補者」(現職の政治家を含む)に寄附することを原則として禁止している(第21条の2第1項)ので、「公職の候補者」の政治資金収支報告制度はない(ただし、立候補者の選挙資金については公選法により選挙運動費用収支報告が義務づけられている)。
- ・その例外は政党が「公職の候補者」に寄附する場合(第21条の2第2項)。
- ・党本部は幹事長など「公職の候補者」に寄附しているが、公職の候補者個人の収支報告制度なし

「公職の候補者」への合法的な寄附と違法な寄附

寄附供与者	寄附受領者	寄附の目的	合法・違法
政治団体・個人	公職の候補者	政治活動 (選挙運動を除く)	違法
政治団体・個人	公職の候補者	選挙運動	合法
政党(本部又は支部)	公職の候補者	政治活動・選挙運動	合法

自民党本部の「政策活動費」名目で幹事長らへの支出額と受領議員数(2012年～2022年)

年	政策活動費支出	受領人数	受け取った議員と合計金額(1億円以上に限定紹介)	国政選挙
2012年	9億6510万円	19人	石破茂2億6000万円(9月から幹事長) 安倍晋三2億5000万円(10月から総裁) 石原伸晃2億0780万円(9月まで幹事長)	衆院選
2013年	12億9080万円	14人	石破茂10億2710万円(幹事長)	参院選
2014年	15億9260万円	13人	谷垣禎一8億5950万円(9月から幹事長) 石破茂5億1140万円(8月まで幹事長)	衆院選
2015年	12億3920万円	22人	谷垣禎一7億880万円(幹事長)	

			茂木敏充1億 5550 万円(選対委員長)	
2016年	17億 390 万円	19人	谷垣禎一6億 7950 万円(8月まで幹事長) 二階俊博5億 250 万円(総務会長、8月から幹事長) 吉田博美1億 2000 万円(参院国対委員長、7月末から参院幹事長) 茂木敏充1億 190 万円(選対委員長、8月から政調会長)	参院選
2017年	19億 1730 万円	20人	<b>二階俊博 13 億 8290 万円(幹事長)</b> 吉田博美 1 億円(参議院幹事長)	衆院選
2018年	12億 1320 万円	19人	二階俊博8億 3270 万円(幹事長)	
2019年	12億 9010 万円	18人	二階俊博 10 億 710 万円(幹事長)	参院選
2020年	9億 8330 万円	12人	二階俊博6億 3200 万円(幹事長) 福井照 1 億 4150 万円(経理局長)	
2021年	17 億 2870 万円	26人	二階俊博4億 3910 万円(9月まで幹事長) 甘利明3億 8000 万円(10月・11月幹事長) 茂木敏充2億 4520 万円(11月から幹事長) 関口昌一1億 3700 万円(参議院議員会長) 遠藤利明 1 億 1650 万円(10月から党選挙対策委員長)	衆院選
2022年	14 億 1630 万円	15人	茂木敏充 9 億 7150 万円(幹事長) 渡辺博道 1 億 3250 万円(経理局長)	参院選

◆都道府県支部連合会や各支部でも・・・「組織活動費」「活動費」名目で

自由民主党福島県支部連合会の「組織活動費」名目の大勢の個公職の候補者への寄附支出

年	本部からの交付金	うち政党交付金	支出目的	合計額	備考
2012年	約6228・4万円	2670・4万円	組織対策費	1515・0万円	衆院総選挙
2013年	約6642・5万円	1900・0万円	組織対策費	1930・0万円	参院通常選挙
2014年	約5865・6万円	3700・0万円	組織対策費	4872・8万円	衆院総選挙
2015年	約3953・6万円	1300・0万円	組織対策費	3365・0万円	
2016年	約8971・0万円	2900・0万円	組織対策費	6702・7万円	参院通常選挙
2017年	約5040・3万円	3200・0万円	組織対策費	5065・0万円	衆院総選挙
2018年	約4893・0万円	約1134・9万円	組織対策費	4516・0万円	
2019年	約6663・1万円	約5128・9万円	組織対策費	7316・0万円	参院通常選挙
2020年	約1697・9万円	約1027・7万円	組織対策費	約503・8万円	
2021年	約4711・1万円	約2524・0万円	組織対策費	3185・0万円	衆院総選挙

(2) 内閣官房報償費(機密費)

・会計検査院も領収書のチェックができない公金。年間約1.2億のうち9割は内閣官房長官が管理(最高裁第2小法廷2018年1月19日判決により原告一部勝訴の結果、開示使途文書で判明)。



・過去には、政治資金のように自民党のために使われた疑惑あり（消費税導入時に野党の一部へ。政治資金パーティー券購入など）。・・・総理、元総理らへ。

**(3) 収支報告制度のない調査研究広報滞在費（旧・文書通信交通滞在費）**

・月額100万円・年間1200万円の使途報告制度なし。

**5. 真相解明の必要性と私の追及継続**

**(1) キックバック先は本当に議員の政治団体か？**

自民党の2派閥の各政治団体側が認め、東京地検特捜部が認定した事実	私の元々の見立て
キックバック・中抜き等の寄附を受けたのは <b>議員の資金管理団体又は選挙区支部</b>	<b>議員個人への違法な寄付。だから派閥の政治団体も議員の選挙区支部・資金管理団体も各政治資金収支報告書に記載しなかった！</b>
<b>派閥の政治団体と議員の資金管理団体等の各政治資金規正法違反の政治資金不記載・虚偽記入罪（公訴時効5年）</b>	<b>派閥の政治団体の違法寄付供与罪と議員の違法寄附受領罪（政治資金規正法違反。公訴時効3年） 派閥の政治団体の政治資金規正法違反の政治資金不記載・虚偽記入罪（公訴時効5年）</b>
議員が政治団体等の会計責任者の責任にすれば議員の共謀の立証が難しくなる	政治活動に使っていない残金は議員の「 <b>雑所得</b> 」で課税対象になるのではないか（確定申告しなければ <b>脱税</b> ）。

**(2) 明らかになっている事件は氷山の一角・・・真相・全容は解明されていない**

- ・明らかになっているのは5年（2018年～2022年）分の裏金だけ（前掲一覧）。
- ・政治資金収支報告書の訂正は3年（2020年～2022年）分
- ・いつから、各年に幾らの裏金がそれぞれつくられたのか、各年のキックバックの金額・中抜きの金額は幾らか・・・不明のまま

**(3) 「清和政策研究会」のキックバック・中抜き等受領不記載等の告発（池田佳隆以外）**

被告発人	犯罪名等	告発状送付日
今村洋史ら3名	<b>収支報告書不提出罪（政治資金規正法違反）</b>	24年3月11日
世耕弘成ら3名	収支報告書不記載・虚偽記入罪（政治資金規正法違反）、 <b>クッキー缶違法寄附（公職選挙法違反）</b>	24年3月15日
萩生田光一ら4名	収支報告書不記載・虚偽記入罪（政治資金規正法違反）	24年3月22日
三ツ林裕巳ら3名	収支報告書不記載・虚偽記入罪（政治資金規正法違反）	24年3月25日
丸川珠代ら（「清和政策研究会」側も）	<b>中抜き違法寄附供与・受領罪（政治資金規正法違反）</b> 派閥側の収支報告書不記載罪（同） 派閥側の訂正＝収支報告書虚偽記入罪（同）	24年3月28日
	「自由民主党東京都参議院選挙区第4支部」の訂正＝収支報告書虚偽記入罪（政治資金規正法違反）	24年4月11日

山谷えり子ら3名	収支報告書不記載・虚偽記入罪（政治資金規正法違反）	24年4月15日
杉田水脈ら5名	収支報告書不記載・虚偽記入罪（政治資金規正法違反）	24年4月21日
堀井学ら4名	収支報告書不記載・虚偽記入罪（政治資金規正法違反）	24年5月1日

※今村氏らは名古屋地検に、他は東京地検に告発。丸川議員は元検事の郷原弁護士と一緒に告発

## 6. 自民党の裏金づくりの背景と理由

### （1）議会制民主主義が実現していないので暴走可能！

#### ①議会制民主主義が実現していない

・「国民主権で普通選挙と主権者国民の代表機関の国会さえあれば当然に議会制民主主義である」というわけではない！

#### ◆議会制民主主義の条件

- ・議会制民主主義であるためには、さらに、民意が正確・公正に衆参国会に反映される必要あり。
- ・民意を歪曲する制度があれば議会制民主主義とは言えない。
- ・民意を歪曲する制度とは衆議院小選挙区選挙・参議院選挙区選挙、政党助成金、企業献金、使途不明金（裏金）。

#### ②それゆえ政権・与党は暴走可能

- ・福祉国家政策を否定し、構造改革という名の新自由主義が簡単に強行できた。
- ・戦争できる国づくりもできた。

#### ③その結果、党員の激減。それでも選挙で勝ちたい！

- ・自民党の党員数のピークは1991年の約547万人で、2012年末には73万人台まで激減。
- ・選挙での買収、その一歩手前の公選法違反の選挙区内の者への寄附

### （2）公選法の適用のない自民党総裁選挙・・・買収し放題

- ・党総裁（代表）選挙を行なうかどうかは自民党の自律権行使（結社の自由）
- ・不平等な等級選挙になっている自民党総裁選挙でも同様に自民党の自由
- ・自民党の総裁選挙には公選法の適用はない・・・「買収も自由」

### （3）自民党の自浄能力を奪っている違憲の選挙制度改革

・民意を歪曲する違憲の衆院小選挙区選挙・参院選挙区選挙は自民党の自浄能力を目覚めさせてこなかった（個人責任にしてきた）

## 7. 政治改革の必要性

### （1）裏金づくりができないようにする政治改革

- ・裏金づくりが可能な政治資金パーティーの禁止
- ・収益率の高い事業（政治資金パーティー会費と同額のオンライン講演会等）の禁止
- ・政党（本部、支部）の行う公職の候補者への寄付の禁止
- ・調査研究広報滞在費（旧・文書通信交通滞在費）は使途報告を義務付ける！
- ・内閣官房報償費（機密費）は機密度に応じて将来の使途報告を義務付ける

**(2) 1994年「政治改革」はやり直すべき!**

①先送りされて実現されなかった「企業その他の団体の政治献金」の禁止 (前掲)

②警告通り大失敗した政党助成金 (政党交付金) 廃止

・1990年、当時の「政党への公費助成」導入の動きを批判して金丸信・元自民党副総理は、「国民の貴い税金を選挙の候補者に出すのは、今でも選挙違反があるのだから『泥棒に追い銭』にならないとも限らない」(朝日新聞1990年7月5日)

**自民党本部の政治資金収入 (バブル時代4年と直近4年の比較) ・「前年からの繰越額」を除く**

年	本年の収入	年	本年の収入
1986年(衆参同日選挙)	約205.5億円	2019年(参议院通常選挙)	約244.9億円
1987年(統一地方選挙)	約149.9億円	2020年	約240.8億円
1988年	約222.8億円	2021年(衆議院総選挙)	約243.9億円
1989年(参议院通常選挙)	約246.2億円	2022年(参议院通常選挙)	約248.6億円
平均	<b>約206.1億円</b>	平均	<b>約244.6億円</b>

**自民党「本年の純収入」、政党交付金 (税金) の占める割合 (国営化)**

年 (国政選挙)	本年の純収入	その内の政党交付金	政党交付金の割合
2019年(参议院通常選挙)	約244.9億円	約176.5億円	<b>約72.1%</b>
2020年	約240.8億円	約172.6億円	<b>約71.7%</b>
2021年(衆議院総選挙)	約243.9億円	約169.5億円	<b>約69.5%</b>
2022年(参议院通常選挙)	約248.6億円	約159.8億円	<b>約64.3%</b>

**自民党本部の政治資金における「翌年への繰越額」**

年	翌年への繰越額	うち政党交付金 (基金)	国政選挙
2016年	133億6633万円	124億6634万円	参议院通常選挙
2017年	134億3856万円	112億7516万円	10月衆議院総選挙
2018年	185億9172万円	165億6468万円	
2019年	188億9407万円	172億6136万円	参议院通常選挙
2020年	244億1976万円	239億5603万円	
2021年	215億9320万円	214億1414万円	10月衆議院総選挙
2022年	214億3957万円	203億5706万円	参议院通常選挙

**③選挙制度改革**

・衆参の選挙制度は無所属も立候補できる完全比例代表制へ!

#### ◇自己紹介を兼ねて・・・参考文献（単著を中心に）

- ・『どう思う？地方議員削減』日本機関紙出版センター、2014年
- ・『財界主権国家・ニッポン 買収政治の構図に迫る』日本機関紙出版センター、2014年
- ・『告発！政治とカネ 政党助成金20年、腐敗の深層』かもがわ出版、2015年
- ・『追及！安倍自民党・内閣と小池都知事の「政治とカネ」疑惑』日本機関紙出版センター、2016年
- ・『日本国憲法の真価と改憲論の正体』日本機関紙出版センター、2017年
- ・『ここまできた小選挙区制の弊害』あけび書房、2018年
- ・『内閣官房長官の裏金 機密費の扉をこじ開けた4183日の闘い』日本機関紙出版センター、2018年
- ・『安倍「4項目」改憲の建前と本音』日本機関紙出版センター、2018年
- ・『逃げる総理 壊れる行政 追及！！「桜を見る会」&「前夜祭」』日本機関紙出版センター、2020年
- ・『忘れない、許さない！ 安倍政権の事件・疑惑の総決算とその終焉』かもがわ出版、2020年
- ・富田宏治・上脇博之・石川康宏『いまこそ、野党連合政権を！』日本機関紙出版センター、2020年
- ・上脇博之・阪口徳雄・前川喜平・小野寺義象・石戸谷豊・岡田正則・松宮孝明 『ストップ！！国政の私物化』あけび書房、2021年
- ・『政党助成金、まだ続けますか？』日本機関紙出版センター、2021年。
- ・河井疑惑をただす会・上脇博之『だまっとれん 河井疑惑 まだ終わっていない』日本機関紙出版センター、2022年
- ・『日本維新の会の「政治とカネ」』日本機関紙出版センター、2022年
- ・『憲法の破壊者たち』（日本機関紙出版センター・2022年）
- ・『なぜ「政治とカネ」を告発し続けるのか』日本機関紙出版センター、2023年。

以上。